

開設年度		開講部局	
2020		共通教育	
科目名			
稲盛和夫の経営哲学(1)			
英語科目名			
Management philosophy of Kazuo Inamori I			
前後期	開講区分	科目形態	単位数
前期	毎週	講義	2
(28年度以降入学生)中分類		(28年度以降入学生)小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野(選択科目)	
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類	
b. 知力:人文・社会科学		11. 経済・経営を学ぶ	
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分	
教養科目		人間教育科目	
受講学部学科			
全学部全学科			
担当教員		担当教員所属	
吉田健一		稲盛アカデミー	
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
099-285-3753		k5621643@kadai.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
随時可(但し、事前にメールによる連絡をください)			
共同担当教員			
アクティブ・ラーニング			
5. 学習の振り返り;			
アクティブ・ラーニング(「その他」の内容)			
アクティブ・ラーニング(授業回数)			
15回中10回			
理念 重要視する教育目標			
1. 自己理解 1)自身の関心・能力・価値観を踏まえて行動できる			
理念 教育目標			
1. 自己理解 1)自身の関心・能力・価値観を踏まえて行動できる			
理念 教育目標			
1. 自己理解 2)必要な知識・技能の獲得に向けて行動できる			
理念 教育目標			
6. 実践 2)課題の解決に向けて主体的に行動できる			
授業概要(目的・内容・方法)			
1. 授業の目的は、経営のベースとなる経営哲学について、現代日本の代表的経営者であり、本工学部の卒業生である稲盛和夫氏の思想を理解することである。経営哲学の意義と、そのあるべき内容を理解することが本講義の目的である。			
2. 授業の内容は、稲盛氏の経営哲学の集大成である『京セラフィロソフィ』を熟読し、経営学、思想、宗教、人間観の知識を総動員し、担当者が解説を加えていく。			
3. 授業の方法は、毎時間、『京セラフィロソフィ』を担当者が解説し、受講生にはフィードバックシートを提出して頂く。次の時間にフィードバックシートの代表的な意見を紹介し双方向性を高めた講義を行う。			
学習目標			
1.なぜ、経営に哲学が必要なのかを説明できる。			
2.経営哲学とは、どのようなものでなければならないのかを説明できる。			
3.経営者は、いかにあるべきかを説明できる。			
4.経営哲学を、組織内で共有するためにどうすればいいのかを説明できる。			
5.経営哲学がいかなる可能性を開くかを説明できる。			
授業計画・試験の有無(16回[初修語は31回]に分け、回数、授業内容、自学自習等)			

1. 「京セラフィロソフィ」はどのようにして生まれたか
2. 「宇宙の意志」と調和する心、愛と誠と調和の心をベースとする
3. きれいな心で願望を描く、素直な心をもつ
4. 常に謙虚であらねばならない、感謝の気持ちをもつ
5. 常に明るく、仲間のために尽くす
6. 信頼関係を築く、完全主義を貫く
7. 真面目に一生懸命仕事に打ち込む、地味な努力を積み重ねる
8. 自ら燃える、仕事を好きになる
9. ものごとの本質を究める、渦の中心になれ
10. 率先垂範する、自ら追い込む
11. 土俵の真ん中で相撲をとる、本音でぶつかれ
12. 私心のない判断を行う、バランスのとれた人間性を備える
13. 知識より体得を重視する、常に創造的な仕事をする
14. 利他の心を判断基準にする、大胆さと細心さをあわせもつ
15. 有意注意で判断力を磨く、フェアプレイ精神を貫く
16. 期末レポート

授業外学習(予習・復習)

復習：授業で学んだ内容を振り返り（配布資料を読み返し）、感想をA4、1枚のフィードバックシートにまとめて、1週間以内に提出する。本講義は復習中心に進めてください。

受講要件

成績の評価基準

経営哲学及び稲盛氏の経営思想に関心をもっていることが望ましい。なお、後期開講の「稲盛和夫の経営哲学(II)」は本講義の続きの内容である。後期の「II」もセットで受講してくれることが望ましい。

毎回のフィードバックシートの提出（50%）、期末レポート（50%）。

教科書

参考書

書名：『京セラフィロソフィ』
 著者等：稲盛和夫
 出版社：サンマーク出版
 出版年：2014年
 ISBN：10 4763133713
 教科書は、高価な本なので購入は必要ありません。講義時間に資料を配布します。

なし

地域志向科目の区分（平成27年度入学生用）

地域志向科目の区分（平成28年度以降入学生用）

実務経験のある教員による実践的授業

その他